

欧州における超高速通信網の普及状況及び政府等による普及支援の仕組み、並びに超高速通信に関する最新技術研究の展望に係る調査

調査の目的

欧州における通信網の高速化の現状と将来展望、さらに最近明らかにされた英仏独のブロードバンド計画を参考に欧州主要国のブロードバンド普及支援政策の内容を調査するとともに、超高速通信網に係る欧州連合の第七次枠組計画と大学や国が主導する最新技術・サービスに係るプロジェクトを紹介する。

調査機関、調査方法

調査目的に係る公開情報の収集・整理を効果的に行うため、これらの事務をフランスで設立されている調査機関に委託して調査を実施した。

報告書のポイント

欧州では、光ファイバ網の普及が緒についたばかりで、DSLやケーブルによる高速通信が中心であり、また、その地域差も大きい。このような現状を脱却するため、英独仏の政府は、そろってブロードバンド戦略を打ち出し、広く国民への普及を目指した政策を開始したところである。その普及政策の内容を中心に調査した。

無線網については、3G後の展開について、Wimax、HSPA、HSPA+、LTEを中心に、主要国の事業者がどのように取り組んでいるかを調査している。特に、仏のWimax事業者や欧州の情報通信関係の調査機関へのヒアリングも実施した。Wimaxへの新規参入を目指す事業者が将来の見通しをどのように考えているかを聞くことを通じて、この分野での現状を垣間見ることができた。

2009年8月17日

NICT パリ事務所